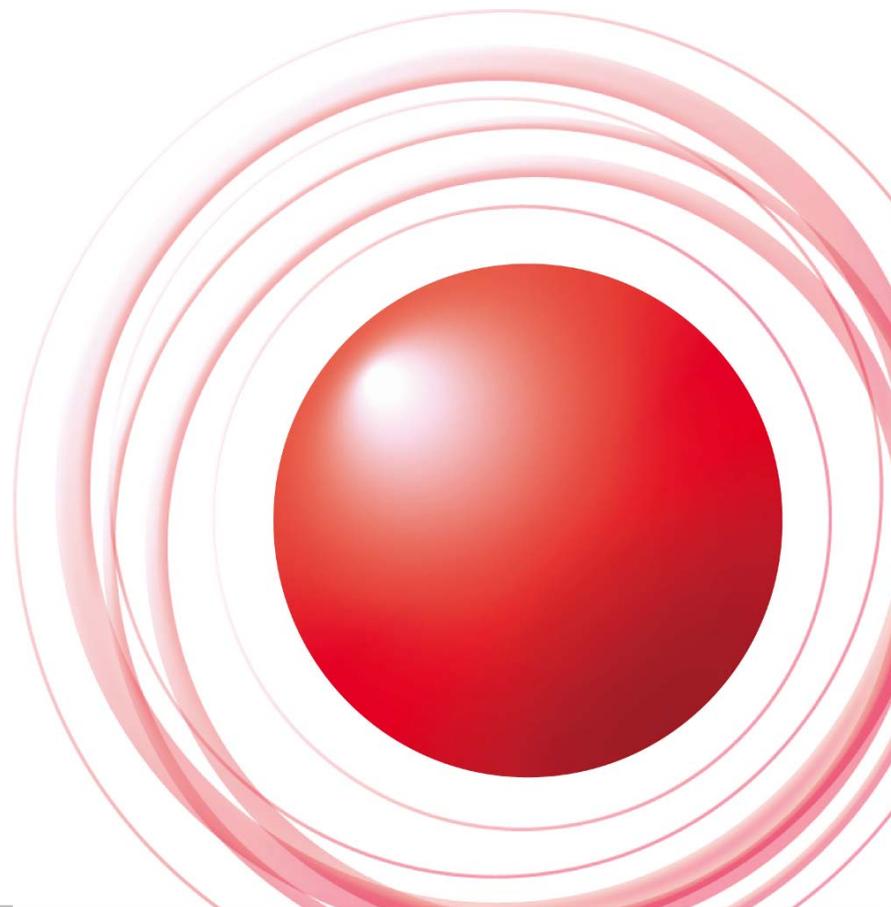


# 2010年3月期 第2四半期 連結業績説明会



株式会社インターネットイニシアティブ（証券コード:3774）  
2009年11月13日

Ongoing Innovation



# アジェンダ

---

**I. 2010年3月期 第2四半期 総括**

**II. 2010年3月期 第2四半期連結業績**

**III. ご参考資料**

# I. 2010年3月期 第2四半期総括

## 《2010年3月期 第2四半期累計実績》

・営業収益(売上高)	32,275百万円	(前年同期比 2.9% 減)
・営業利益	1,166百万円	(前年同期比 16.0% 増)
・税引前利益	1,026百万円	(前年同期比 33.9% 増)
・当社株主に帰属する四半期純利益	715百万円	(前年同期比 94.6% 増)

### ●ストック売上は前年同期比5.1%増、SI構築売上は前年同期比34.1%減

- 接続サービスは一部大口解約等影響により若干伸び悩み、下期復調に向け一層注力中
- SI構築受注環境は前下半期比改善しつつあるが、前年同期比減収

### ● ネットワークサービス及びSI事業 営業利益は前年同期比32.5%増益

- (ATM運営事業を除く既存事業) SI構築売上減であったが、ストック売上継続伸張・コストコントロール効果により、増益基調進展

### ● ATM運営事業は継続立ち上げ中

- 2Q09末現在で設置済みATM60台(1Q09末比 +34台)、11月上旬より関東地区も導入開始済み

### ● 上期公表見通しに対し売上未達、利益は上回り着地

売上高 322.8億円/335.0億円(見通し比 96.3%)、営業利益 11.7億円/8.0億円(見通し比 145.8%)、  
当社株主に帰属する四半期純利益 7.2億円/3.0億円(見通し比 238.5%)

### ● 通期業績見通し変更なし、中間配当は予定通り1,000円(前年同期と同額)

### ● クラウドコンピューティングサービス「IIJ GIO」(2009年10月発表)

- 「GIOプライベート」(11月より提供)、「GIOパブリック」(2010年4月より提供)
- 引き合い多数、マイクロソフト・サイボウズ総研・シトリックス等パートナー企業との提携強化等により積極的なサービス提供を展望

## Ⅱ-1. 2010年3月期 第2四半期累計連結実績サマリー

単位: 億円

	売上比 1H09 (09/04~09/09)	売上比 1H08 (08/04~08/09)	前年同期比
営業収益 (売上高)	<b>322.8</b>	<b>332.5</b>	<b>△2.9%</b>
売上原価	80.7% <b>260.4</b>	81.4% <b>270.8</b>	<b>△3.9%</b>
売上総利益	19.3% <b>62.4</b>	18.6% <b>61.7</b>	<b>1.1%</b>
販売管理費等	15.7% <b>50.7</b>	15.5% <b>51.6</b>	<b>△1.8%</b>
営業利益	3.6% <b>11.7</b>	3.0% <b>10.1</b>	<b>16.0%</b>
税引前純利益	3.2% <b>10.3</b>	2.3% <b>7.7</b>	<b>33.9%</b>
当社株主に帰属する 四半期純利益	2.2% <b>7.2</b>	1.1% <b>3.7</b>	<b>94.6%</b>

▶ ストック売上は前年同期比増加、  
景気影響によりSI構築売上は減少

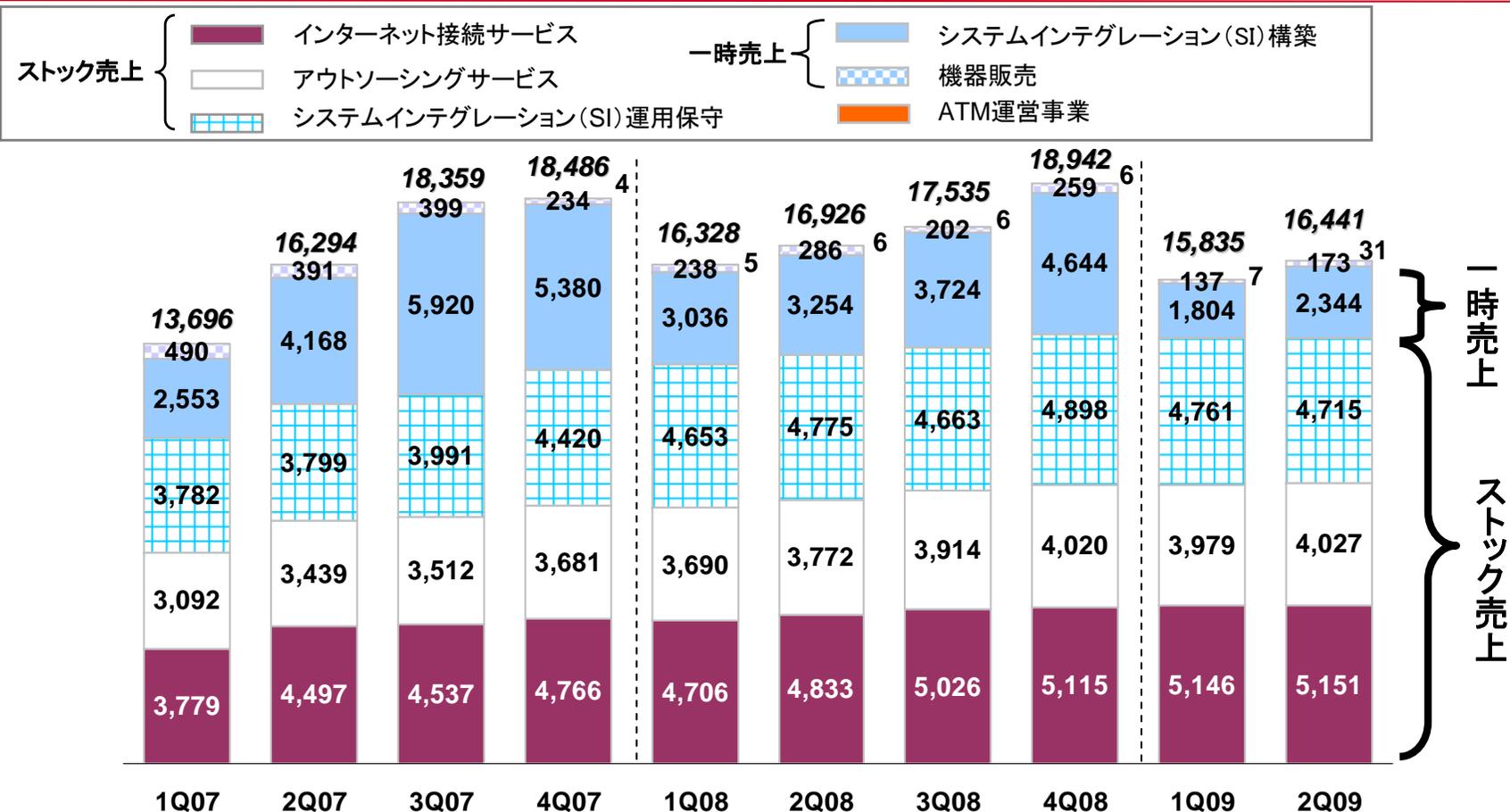
▶ コストコントロール継続注力

▶ ネットワークサービス及びSI事業の  
営業利益は前年同期比32.5%増  
▶ ATM運営事業営業損失  
1H09 : 467百万円  
1H08 : 227百万円

▶ 持分法損益:  
1H09 : 42百万円  
1H08 : 1百万円  
▶ 非支配持分に帰属する純損失:  
1H09 : 175百万円  
1H08 : 140百万円

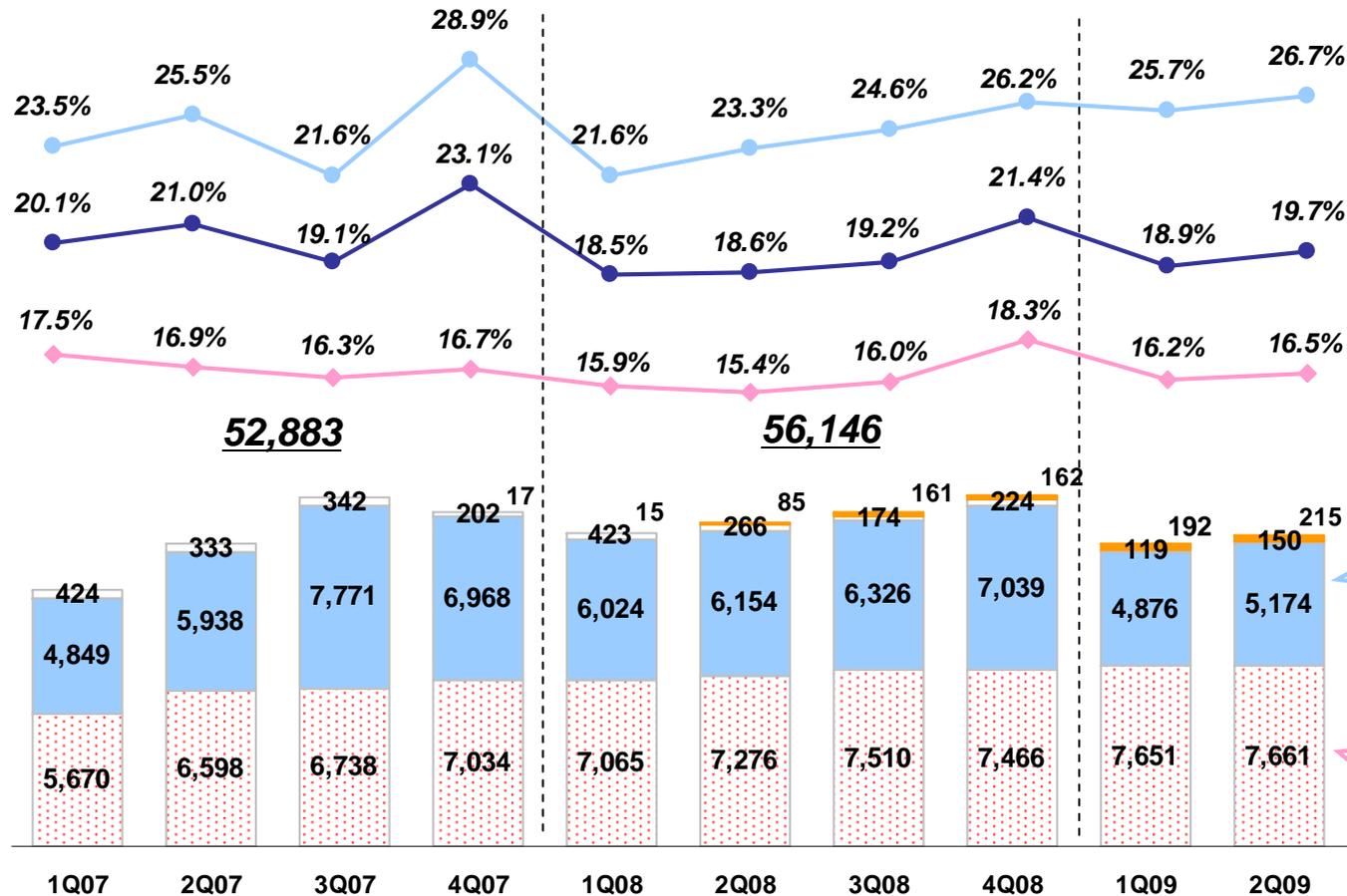
## Ⅱ-2. 営業収益(売上高)の推移

単位:百万円



- ◆ 2Q09 ストック売上は 13,892百万円 (2Q08比 3.8%増、1Q09比 0.04%増)
  - インターネット接続サービス : 2Q08比6.6%増、1Q09比0.1%増
  - アウトソーシングサービス : 2Q08比6.8%増、1Q09比1.2%増
  - SI運用保守 : 2Q08比1.3%減、1Q09比1.0%減
- ◆ 2Q09 一時売上は 2,517百万円 (2Q08比 28.9%減、1Q09比 29.7%増)
  - SI構築 : 2Q08比28.0%減、1Q09比30.0%増
- ◆ 2Q09 ATM運営事業売上は 31百万円 (2Q08比 25百万円増、1Q09比 23百万円増)

## II-3. 売上原価・売上総利益率の推移

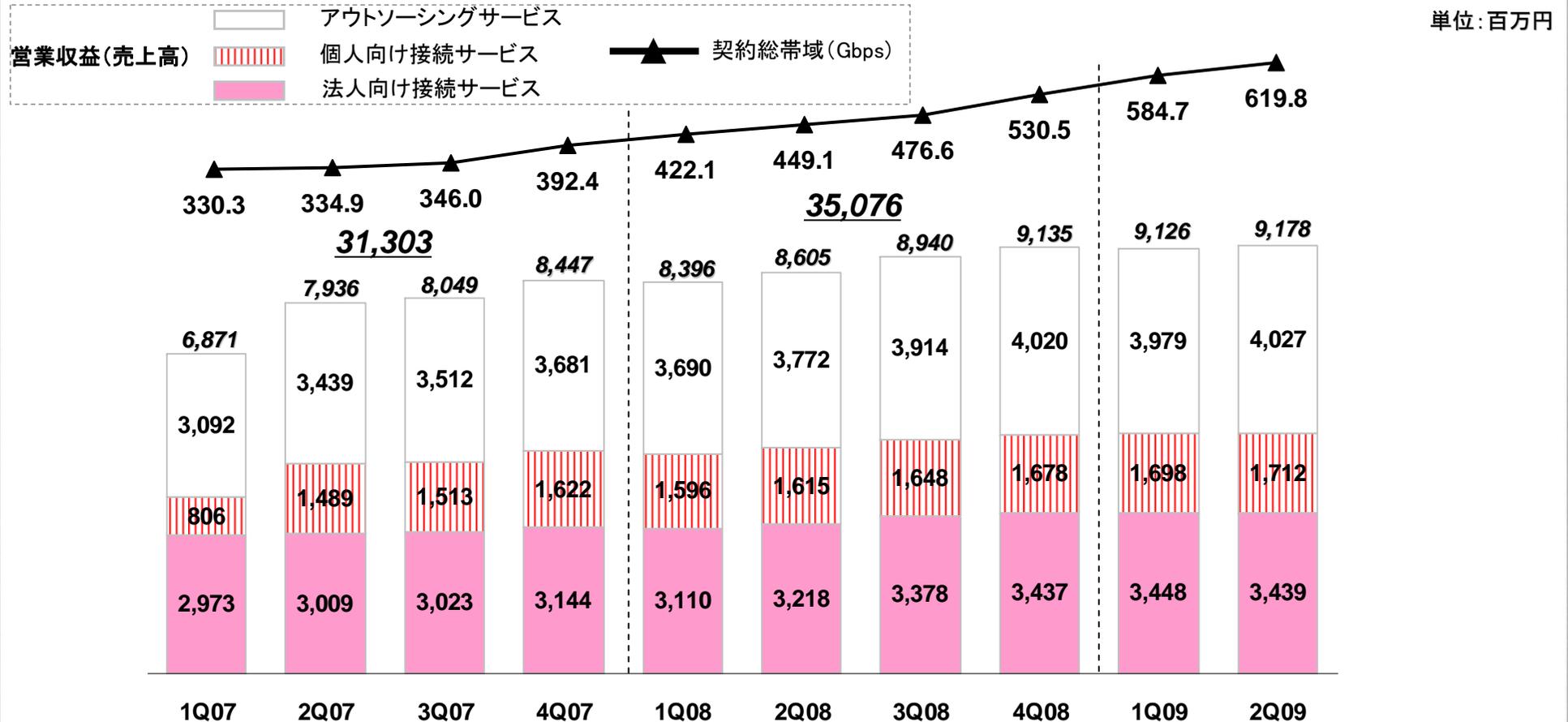


**システムインテグレーション原価**  
仕入、外注関連、設備関連、  
人件関連費用 等

**インターネット接続及び  
アウトソーシングサービス原価**  
バックボーン等回線関連、  
ネットワーク等設備関連、  
外注関連、人件関連費用 等

- ◆ 2Q09 インターネット接続及びアウトソーシングサービス原価 : 2Q08比5.3%増、1Q09比0.1%増  
売上総利益率は、2Q08比1.1ポイント増、1Q09比0.3ポイント増
- ◆ 2Q09 システムインテグレーション原価 : 2Q08比15.9%減、1Q09比6.1%増  
売上総利益率は、2Q08比3.4ポイント増、1Q09比1.0ポイント増
- ◆ 2Q09 ATM運営事業原価 : 2Q09 215百万円、2Q08比 129百万円増、1Q09比23百万円増

## Ⅱ-4. インターネット接続及びアウトソーシングサービス ① 売上の推移



◆ 2Q09 法人向け接続サービス：2Q08比6.9%増、1Q09比0.3%減

- 2Q09末のGbps超の契約は106件、2Q08末比+30件と引き続き増加。事業譲渡に伴う大口一時的解約影響等があり売上は1Q09比微減。下期に向け一層の積み上げに注力中

◆ 2Q09 個人向け接続サービス：2Q08比6.0%増、1Q09比0.8%増

- モバイルデータ通信サービスによる売上継続増、光回線サービス増に伴う売上単価増が寄与

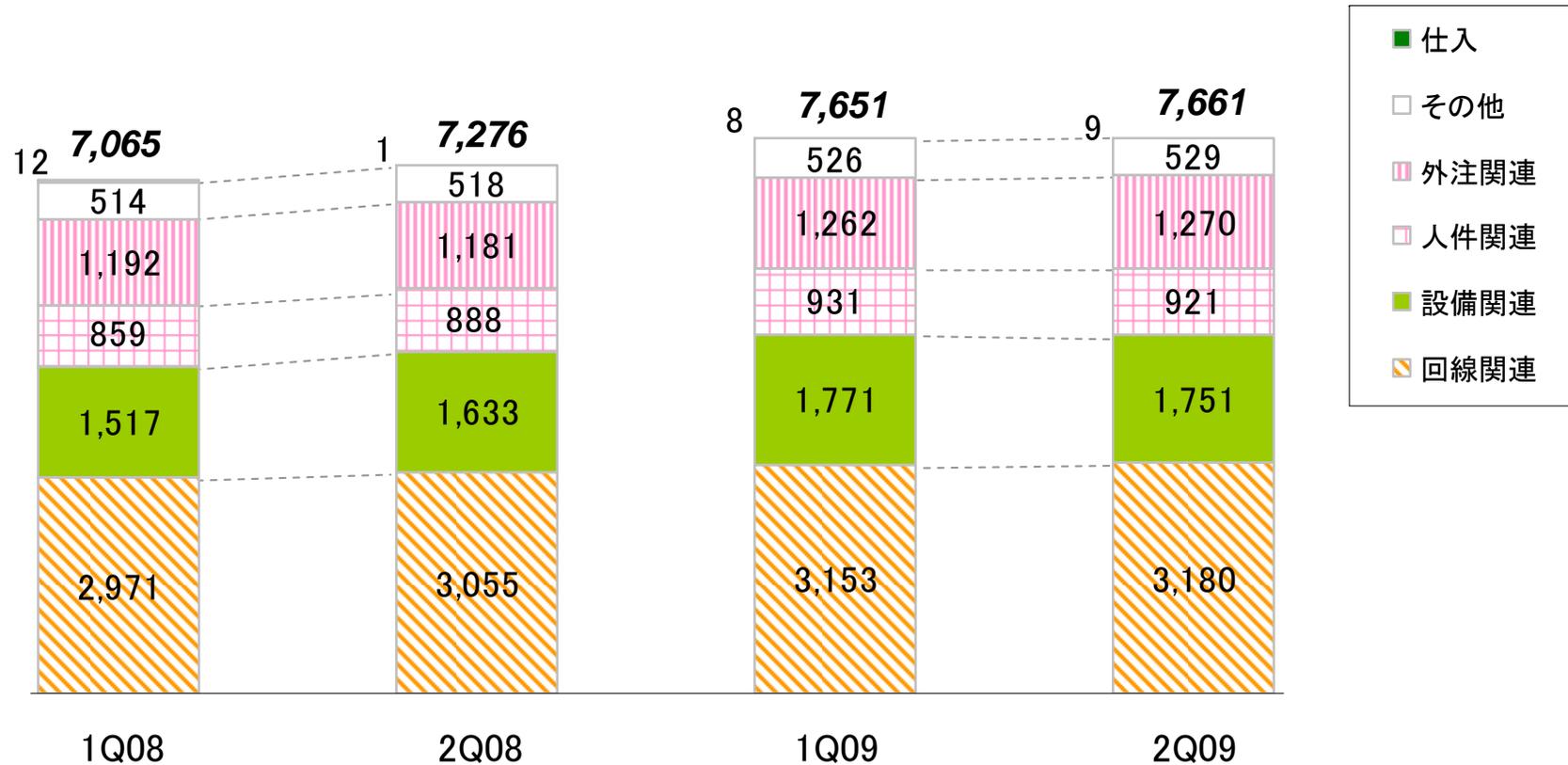
✓ モバイルデータ通信サービス：受注回線数は約32,000回線(1Q09発表時より+約4,000回線)、法人・個人向け共に契約増加

◆ 2Q09 アウトソーシングサービス：2Q08比6.8%増、1Q09比1.2%増

- メール関連・セキュリティ関連・ネットワーク関連サービス等積み上げにより売上継続増加

## II-4. インターネット接続及びアウトソーシングサービス ② 原価の推移

単位:百万円



◆ 2Q09 インターネット接続及びアウトソーシングサービス原価総額 : 2Q08比 5.3%増、1Q09比 0.1%増

➢ 1Q09比 ほぼ横ばいにて推移

外部接続費用増加、リース費用等減少、人件関連費用減少、外注関連費用増加

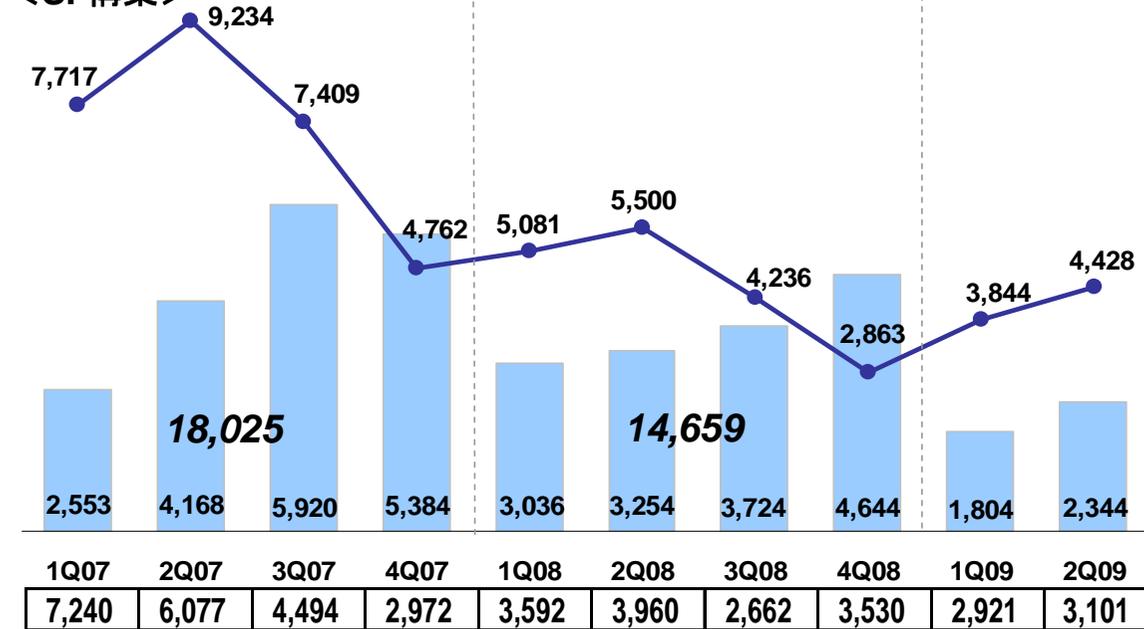
➢ 2Q09 バックボーンコストは912百万円、2Q08比4.2%減、1Q09比0.8%減

## Ⅱ-5. システムインテグレーション(SI)

### ① 売上・受注等の推移

単位: 百万円

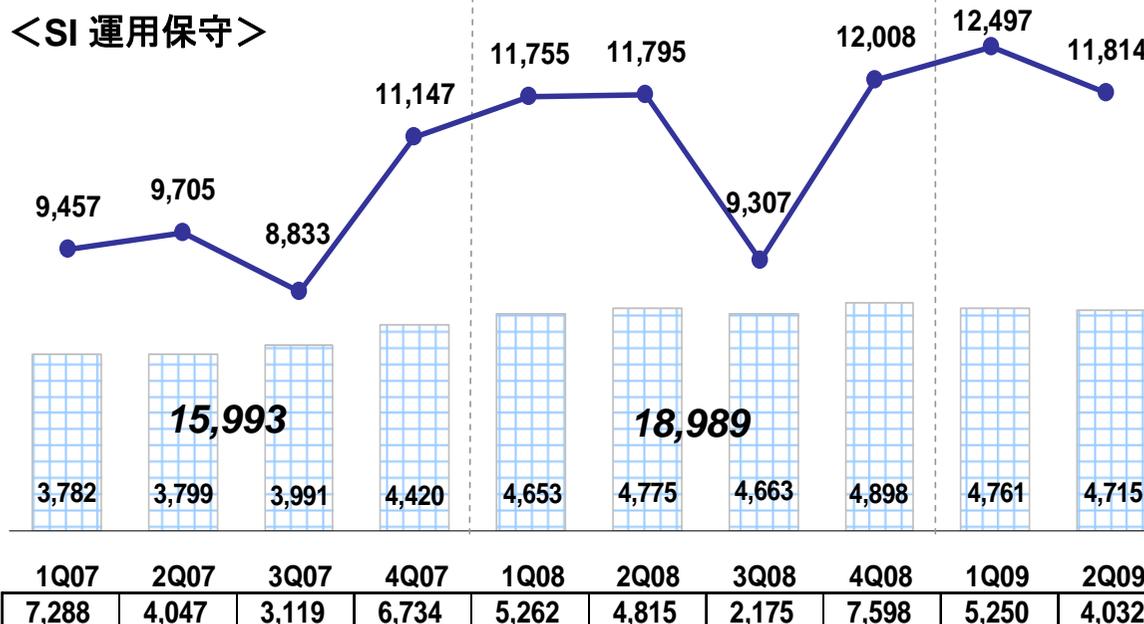
#### <SI 構築>



#### SI 構築の状況

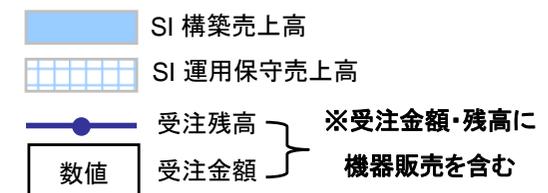
- ◆ 2Q09 売上 2Q08比 28.0%減、1Q09比 30.0%増
- ◆ 2Q09末受注残高  
2Q08末比 19.5%減・1,072百万円減  
1Q09末比 15.2%増・584百万円増
- 案件数は徐々に増加、受注環境は回復途上
- 大型アプリケーション開発案件はなくネットワーク構築案件売上が中心
- 景気先行指標改善基調により下期受注環境は上期比改善との期待感はあるが、規模・時期は未だ不透明

#### <SI 運用保守>



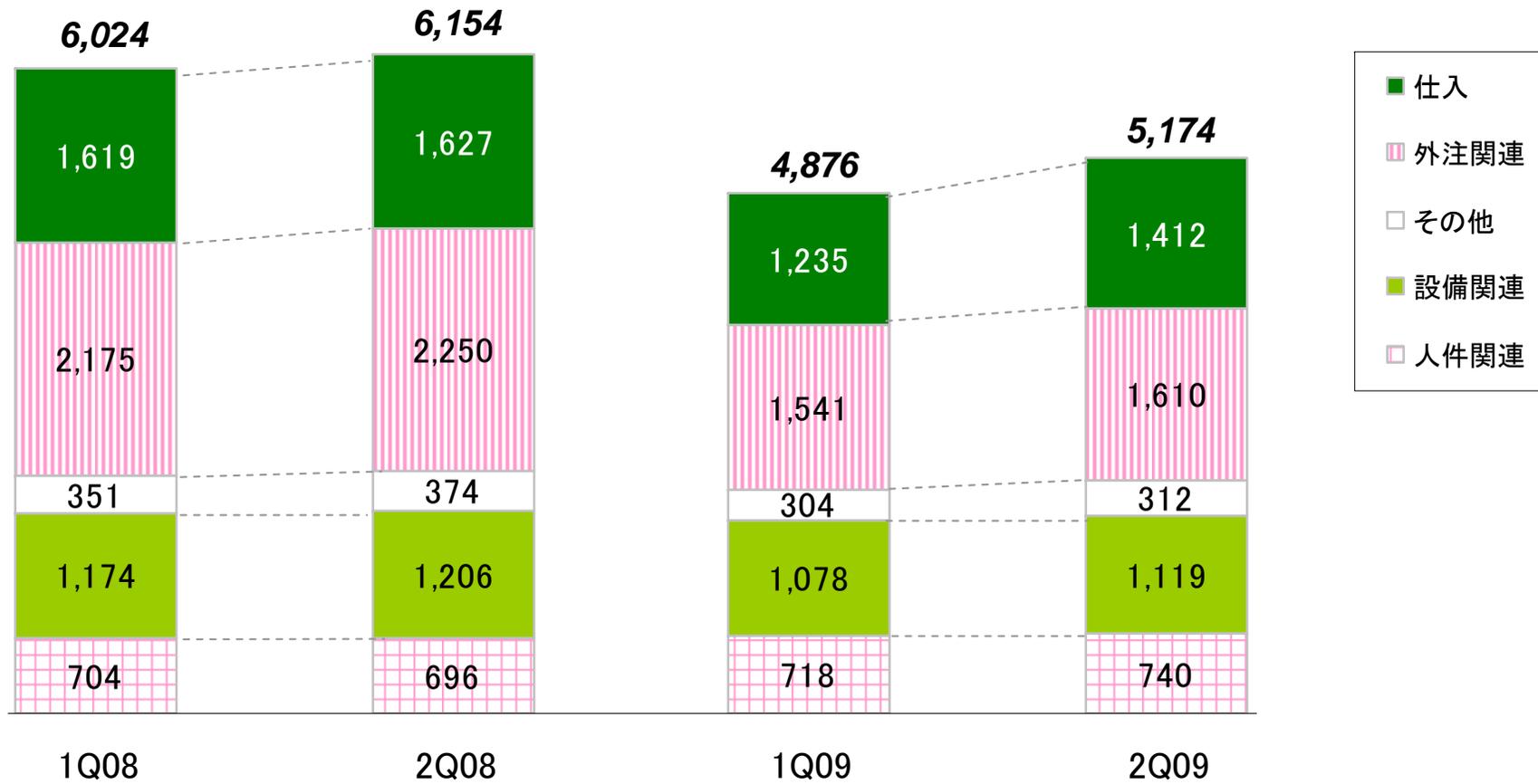
#### SI 運用保守の状況

- ◆ 2Q09 売上 2Q08比 1.3%減、1Q09比 1.0%減
- ◆ 2Q09末受注残高  
2Q08末比0.2%増・19百万円増  
1Q09末比5.5%減・682百万円減
- 一部大口顧客による契約規模縮小影響から、1Q09比売上減、3Q09は増収を展望
- 構築売上減少に伴い、受注規模は減少傾向



## II -5. システムインテグレーション(SI) ② 原価の推移

単位:百万円



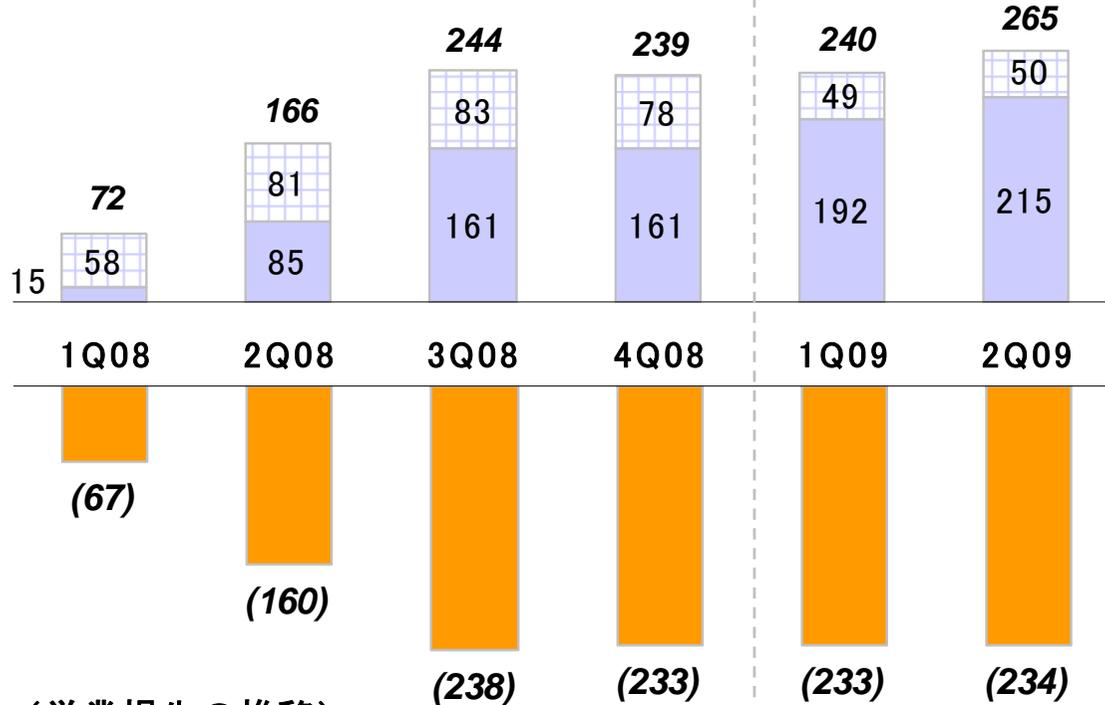
◆ 2Q09 SI 原価総額 : 2Q08比15.9%減、1Q09比 6.1%増

- 1Q09比 外注関連費用は、常駐外注人員数は減少したが売上増に伴い総額は増加
- 2Q09末常駐外注人員数は201名、2Q08末比151名減、1Q09末比21名減

## II-6. ATM運営事業 費用・損失の推移

単位:百万円

(営業費用の推移)



(株)トラストネットワークス

- 2007年7月設立 連結子会社  
出資比率 71.2% (2009年10月末現在)
- 遊技業界向けに銀行ATMを順次導入
- ATM利用毎に生じる手数料収入モデル
- ATM機器はリースにて調達

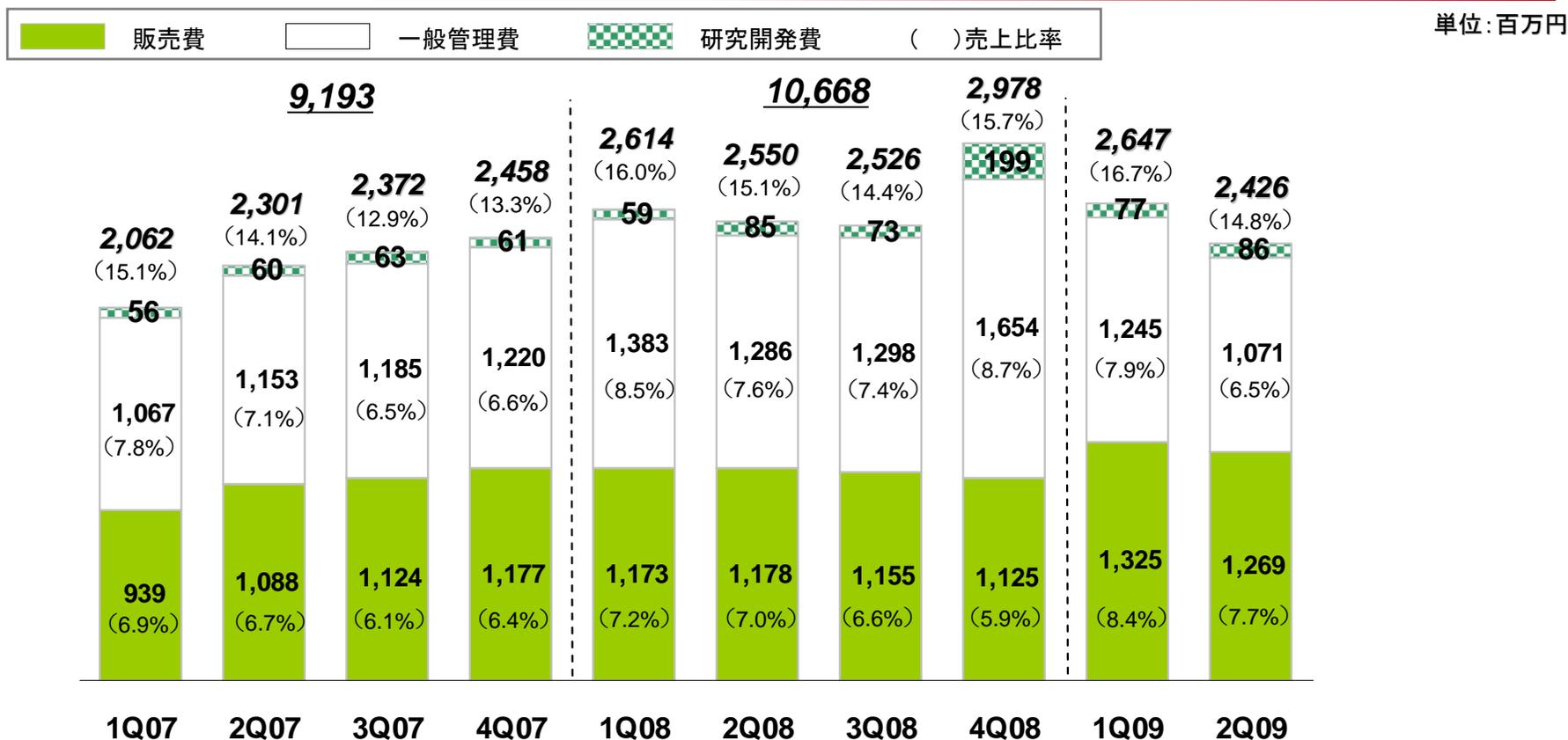
◆ 2Q09末現在 計60台のATMを設置済み、順次導入中

- FY08関東地区にてフィールドテスト完了(10台)、1Q09より関西展開開始し2Q09末にて関西50台設置済
- 2009年11月上旬より関東地区で導入開始(11月13日現在 87台追加導入済)
- 引き出し件数は堅調に推移、導入後認知が高まるにつれ増加傾向
- サービス展開開始により、一部人件費等管理費を原価へ組み替え

◆ 今後4~5年程度で約8,000台の導入を展望

(注) 当該事業の説明につきましては、2009年3月期まで(株)トラストネットワークス単体数字を使用しておりましたが、2010年3月期より前期実績数字含め連結業績よりATM運営事業の数字を切り出して使用しております。

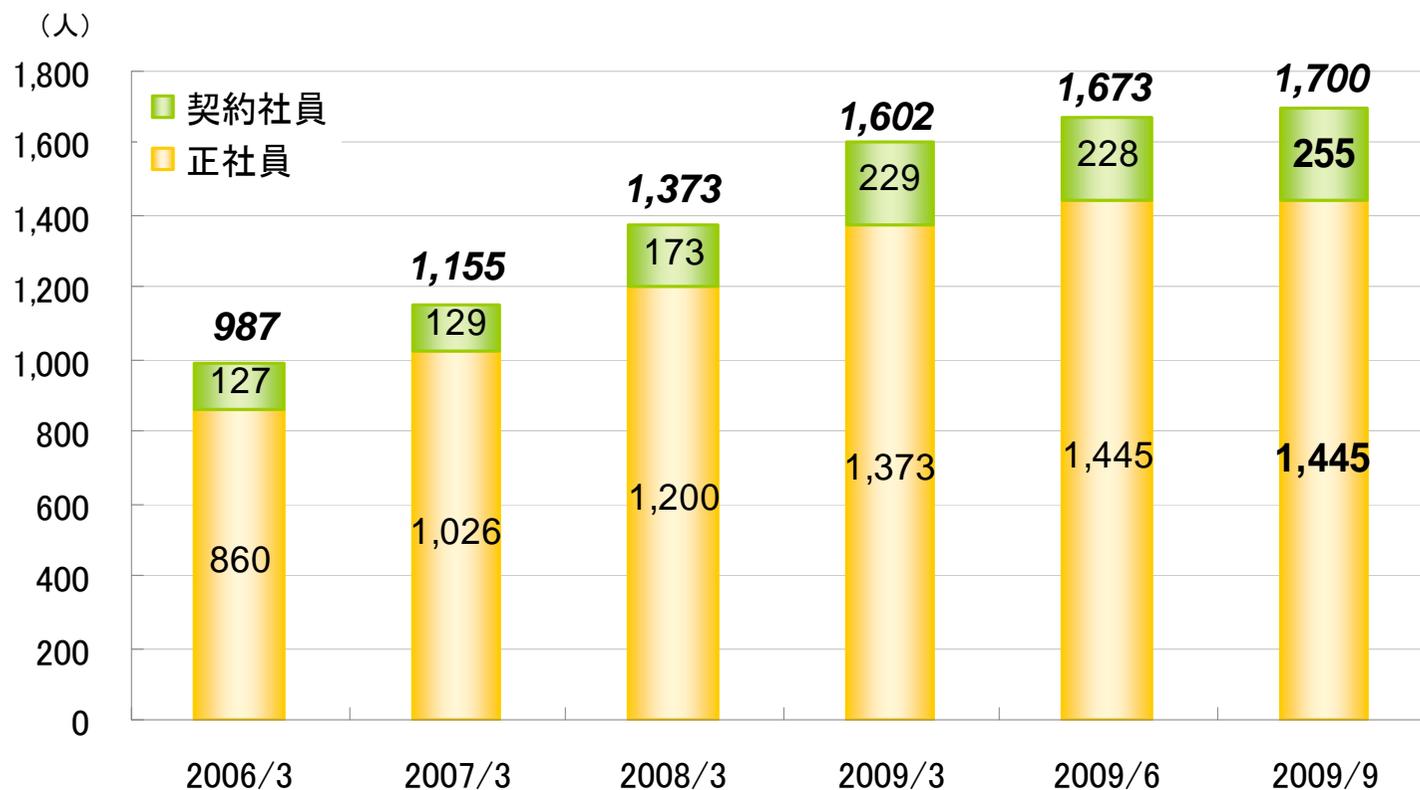
## Ⅱ-7. 販売管理費・研究開発費の推移



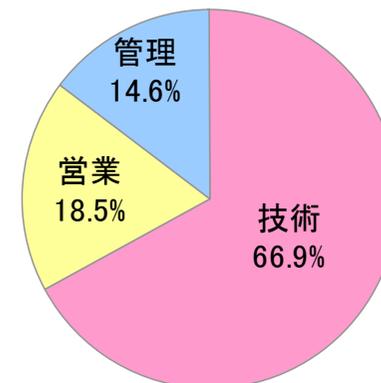
◆ 2Q09 販売管理費・研究開発費：2Q08比4.9%減、1Q09比8.4%減、売上高比率 14.8%

- 販売費：2Q08比7.7%増、1Q09比4.2%減  
1Q09比、1Q09ののれん(顧客関係)除却費計上(119百万円)からの反動減
- 管理費：2Q08比16.8%減、1Q09比14.0%減  
1Q09比、外注関連費用、その他共通費用等の全般抑制による減少
- 研究開発費：2Q08比1.4%増、1Q09比12.6%増
- ATM運営事業に係る販売管理費は50百万円

## Ⅱ-8. 連結従業員数の推移



<分野別人員構成>



人件関連 費用総額 (売上高比率)	2,771 (17.5%)	2,733 (16.6%)
-------------------------	------------------	------------------

単位: 百万円

◆ 2Q09末 連結従業員数 1Q09末比 27名増

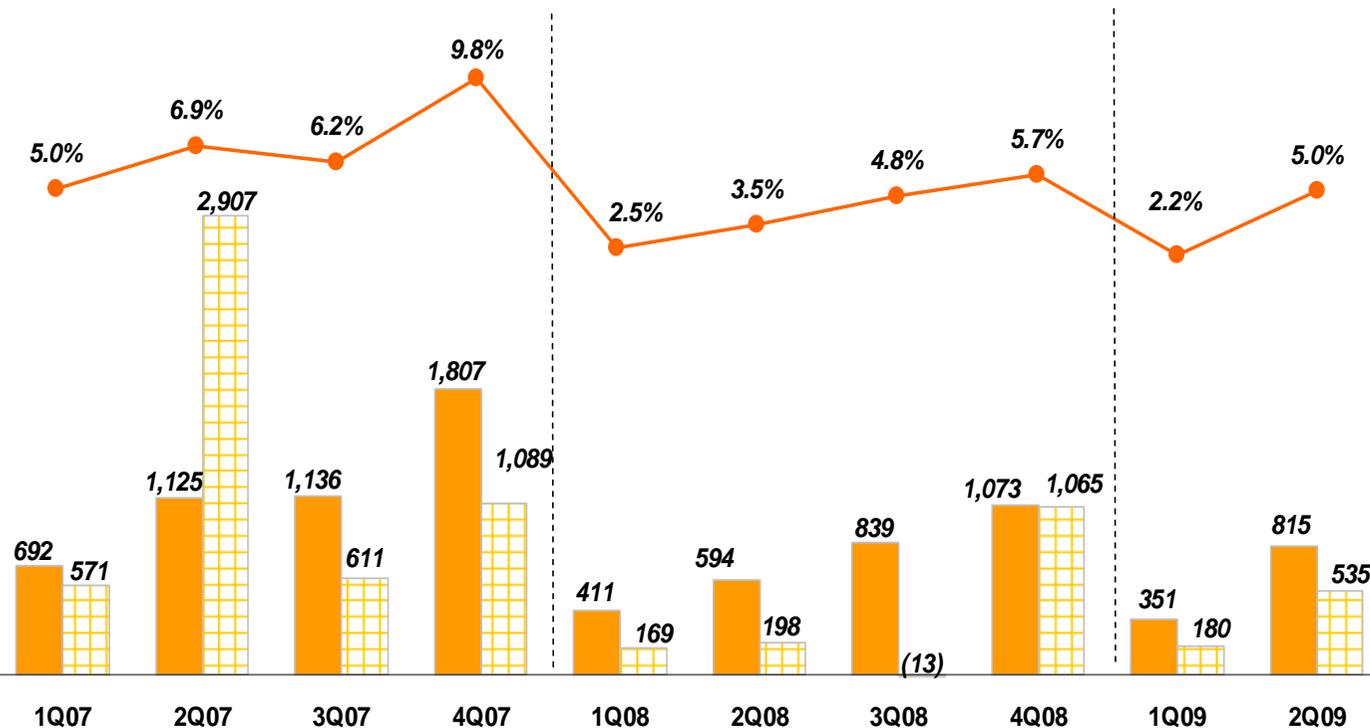
- 正社員数は変化なし、契約社員数増加は派遣社員からの切り替え
- 09年4月入社新卒新入社員数 77名 (08年4月実績: 92名)
- 2Q09末トラストネットワークスの従業員数11名 (うち6名はグループ内出向)

◆ 2Q09 人件関連費用 2Q08比 4.9%増、128百万円増、1Q09比 1.4%減、38百万円減

## Ⅱ-9. 営業利益・当期純利益の推移

営業利益
  当社株主に帰属する四半期純利益
  営業利益率

単位：百万円

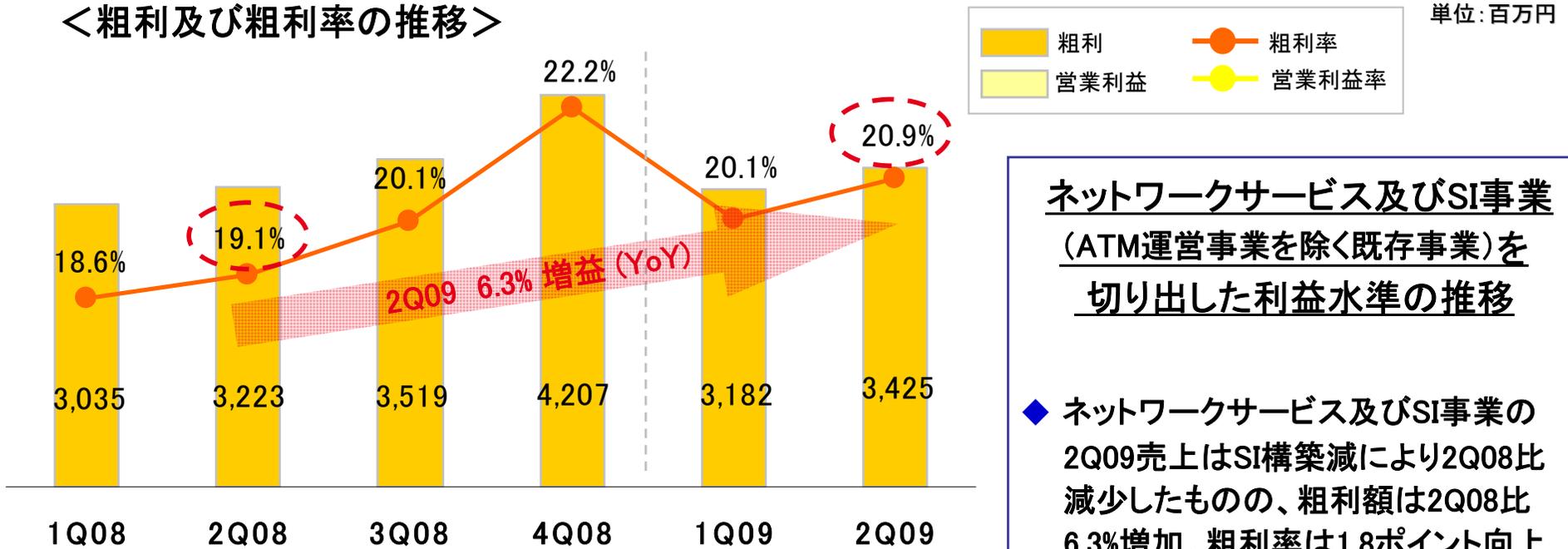


	1Q07	2Q07	3Q07	4Q07	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08	1Q09	2Q09
法人税等	175	▲1,980	392	552	213	326	653	▲190	244	284
持分法損益	▲20	▲29	▲42	▲52	18	▲17	44	▲10	32	11
非支配持分に帰属する四半期純損失	9	15	27	45	55	85	120	93	93	82

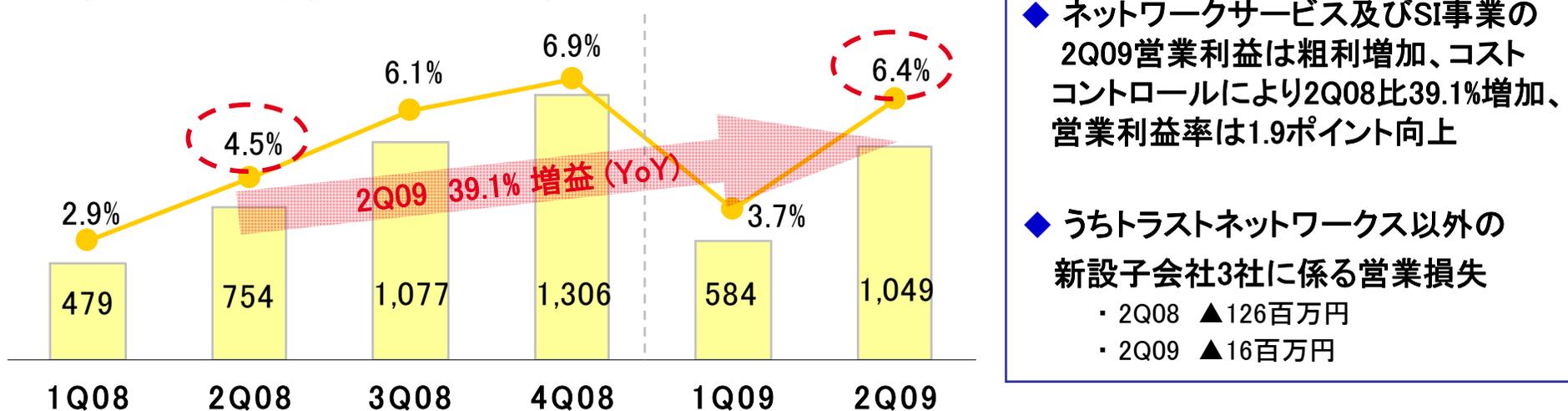
- ◆ **2Q09 営業利益:**  
2Q08比 37.2%増、1Q09比132.3%増
- ◆ **1H09 営業利益 1,166百万円**  
コストコントロールによる売上総利益の増加、販管費総額の減少から増益、公表値を45.8%上回る着地
- ◆ **2Q09 税引前利益:**  
2Q08比 59.0%増、1Q09比 142.0%増
- ◆ **1H09 税引前利益 1,026百万円**  
支払利息及び投資有価証券評価損失減少等により、その他の費用が減少し1H08比増加、公表値を86.5%上回る着地
- ◆ **2Q09 当社株主に帰属する四半期純利益:**  
2Q08比169.5%増、1Q09比196.4%増
  - ▶ 税効果会計による法人税等調整額: 2Q09 187百万円(損)、1Q09 186百万円(損)、2Q08 251百万円(損)
  - ▶ 持分法による投資損益: 2Q09 11百万円(益)と2Q08比増
  - ▶ 非支配持分に帰属する四半期純損失: GDX Japan及びトラストネットワークスに係る損失により、2Q09 82百万円(損)と2Q08比損失微減
- ◆ **1H09 当社株主に帰属する四半期純利益 715百万円**  
公表値を138.5%上回る着地

## II-10. ネットワークサービス及びSI事業の利益推移

### ＜粗利及び粗利率の推移＞



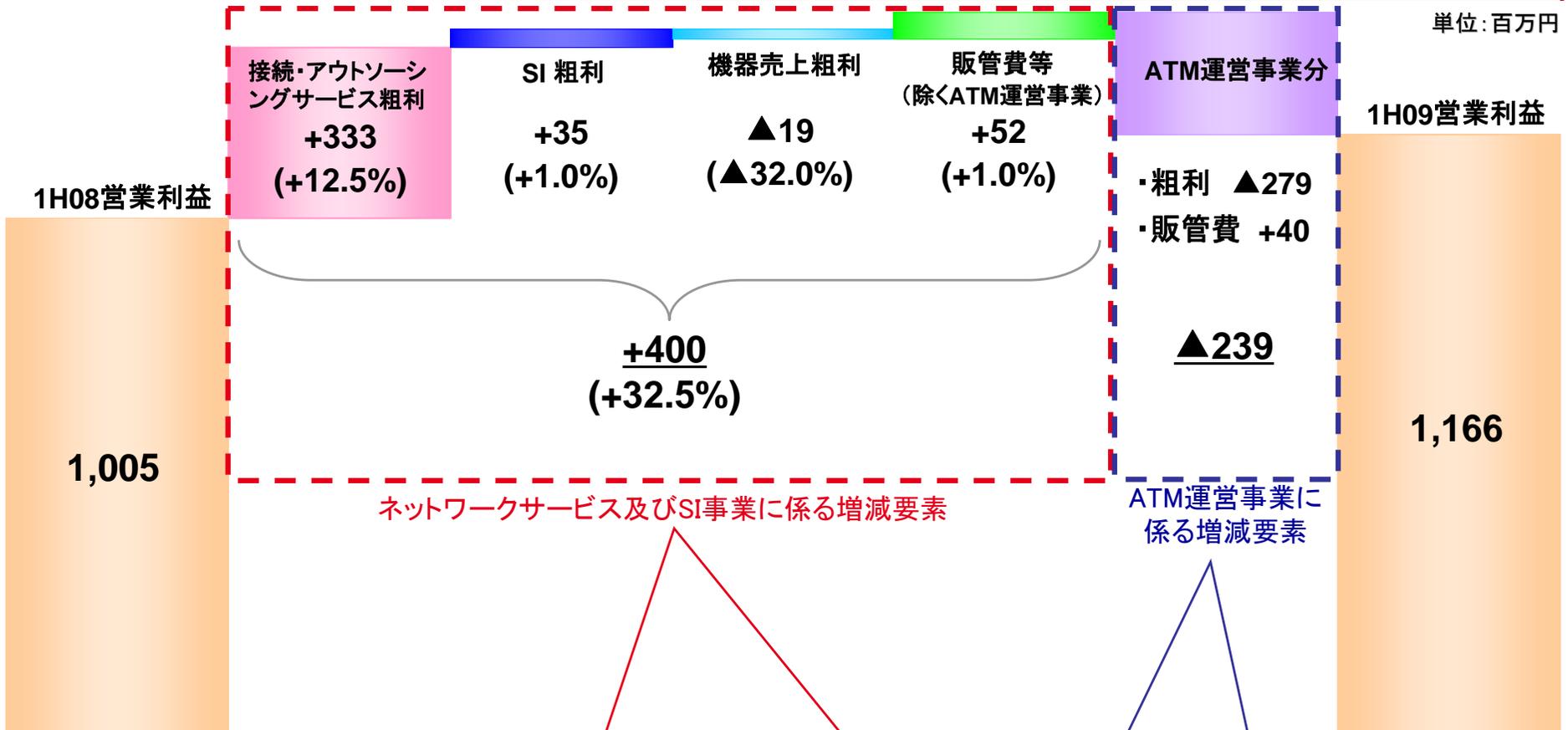
### ＜営業利益及び営業利益率の推移＞



### ネットワークサービス及びSI事業 (ATM運営事業を除く既存事業)を 切り出した利益水準の推移

- ◆ ネットワークサービス及びSI事業の2Q09売上はSI構築減により2Q08比減少したものの、粗利額は2Q08比6.3%増加、粗利率は1.8ポイント向上
- ◆ ネットワークサービス及びSI事業の2Q09営業利益は粗利増加、コストコントロールにより2Q08比39.1%増加、営業利益率は1.9ポイント向上
- ◆ うちトラストネットワークス以外の新設子会社3社に係る営業損失
  - ・ 2Q08 ▲126百万円
  - ・ 2Q09 ▲16百万円

## Ⅱ-11. 営業利益増減要素 (YoY)



- ◆ 接続・アウトソーシングサービス粗利増加：  
売上継続増加が原価増加を吸収の上増加
- ◆ SI粗利増加：  
SI構築売上は景気低迷により減少したものの、コストコントロールにより外注関連費用等が減少し増加
- ◆ 機器売上粗利減少：  
売上絶対額の減少に伴い微減
- ◆ 販売管理費減少(プラス効果)：  
コストコントロールにより外注関連費用、共通的费用等が減少

- ◆ ATM運営事業粗利：  
1H09 ▲368百万円、1H08 ▲89百万円  
引き続き事業立ち上げ時の損失増加
- ◆ ATM運営事業に係る販管費：  
1H09 98百万円、1H08 138百万円

## Ⅱ-12. 連結バランスシート(サマリー)の状況

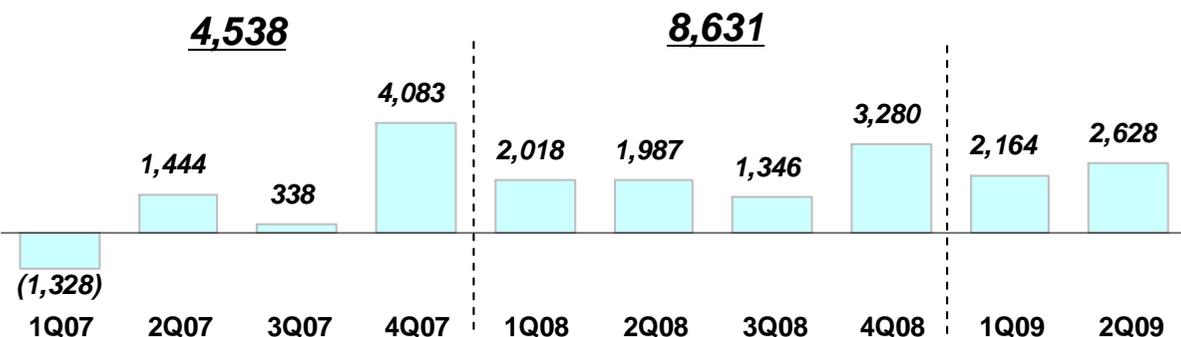
単位:百万円

	2009年9月末	2009年3月末	前期末比	
現金及び現金同等物	10,789	10,188	+601	
売掛金	8,727	10,257	△ 1,530	▶ SI案件の減少により減少
たな卸資産	728	530	+198	▶ SI案件に係る機器保守料等により増加
前払費用	2,214	1,772	+442	
繰延税金資産(流動)	424	762	△ 338	▶ 上場株式等売却可能有価証券 809百万円
その他投資	2,171	1,915	+257	▶ 非上場株式 998百万円 ▶ 出資金等 364百万円
有形固定資産	13,171	13,173	△ 2	
のれん及び その他無形固定資産	5,653	5,841	△ 188	▶ 非償却無形固定資産残高 5,393百万円
繰延税金資産(固定)	2,240	2,253	△ 13	▶ 償却対象無形固定資産残高 250百万円
銀行借入(短期)	7,200	7,350	△ 150	
欠損金	△ 18,036	△ 18,549	+513	▶ 短期借入金の返済により 減少
その他包括利益累計額	△ 166	△ 321	+154	
当社株主に帰属する 資本合計	25,641	25,169	+471	▶ 当社株主に帰属する 資本比率 49.9%
総資産	51,389	52,301	△ 912	

## Ⅱ-13. 連結キャッシュ・フローの状況

単位:百万円

### 営業キャッシュ・フロー

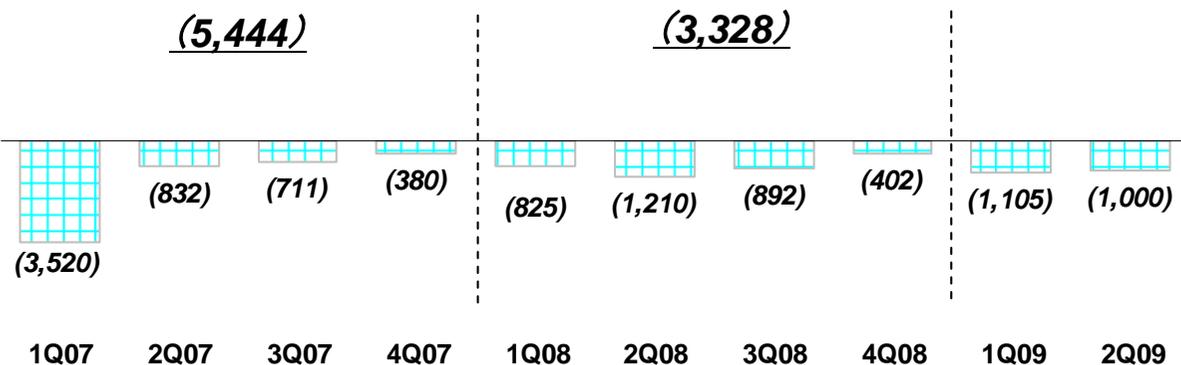


#### 2Q09 営業CF 2,628百万円の収入

- ▶ 売掛金の増加 199百万円
- ▶ たな卸資産・前払費用等の減少 264百万円
- ▶ SI案件仕入等の減少に伴う買掛金及び未払金の増加 421百万円

等

### 投資キャッシュ・フロー

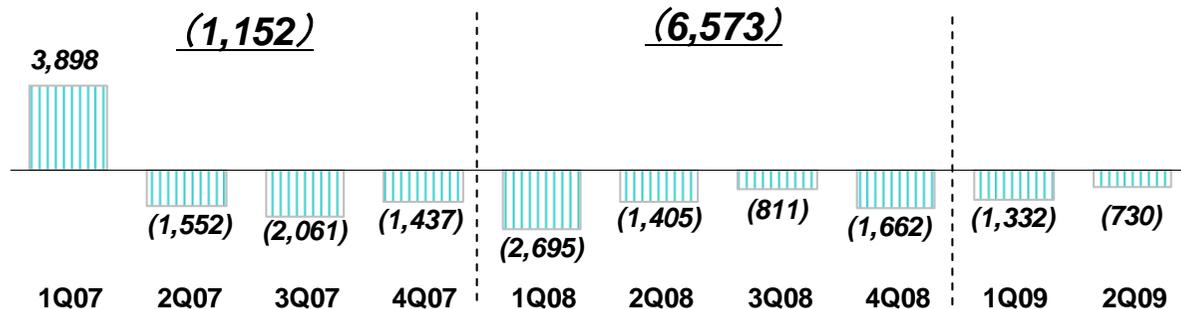


#### 2Q09 投資CF 1,000百万円の支出

- ▶ 有形固定資産の取得による支出 855百万円
- ▶ 短期投資及びその他投資の取得による支出 200百万円

等

### 財務キャッシュ・フロー



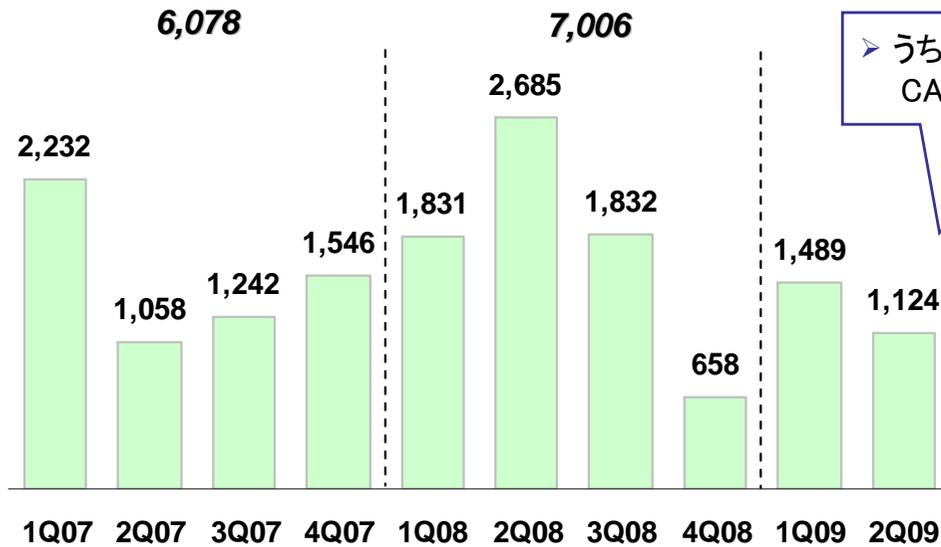
#### 2Q09 財務CF 730百万円の支出

- ▶ キャピタルリース債務の元本返済 780百万円
- ▶ 短期借入金の調達(純額) 50百万円

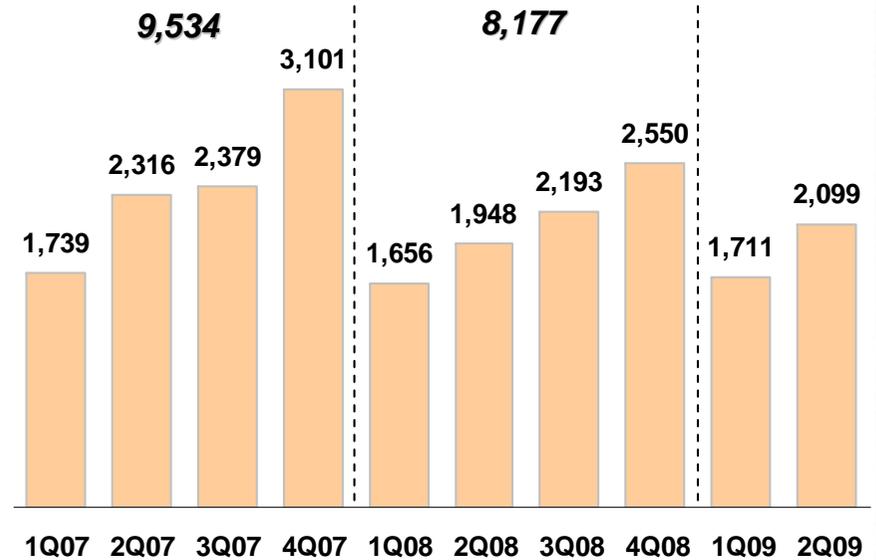
## Ⅱ-14. CAPEX・減価償却・Adjusted EBITDA の状況

CAPEX (設備投資額、キャピタルリースを含む)

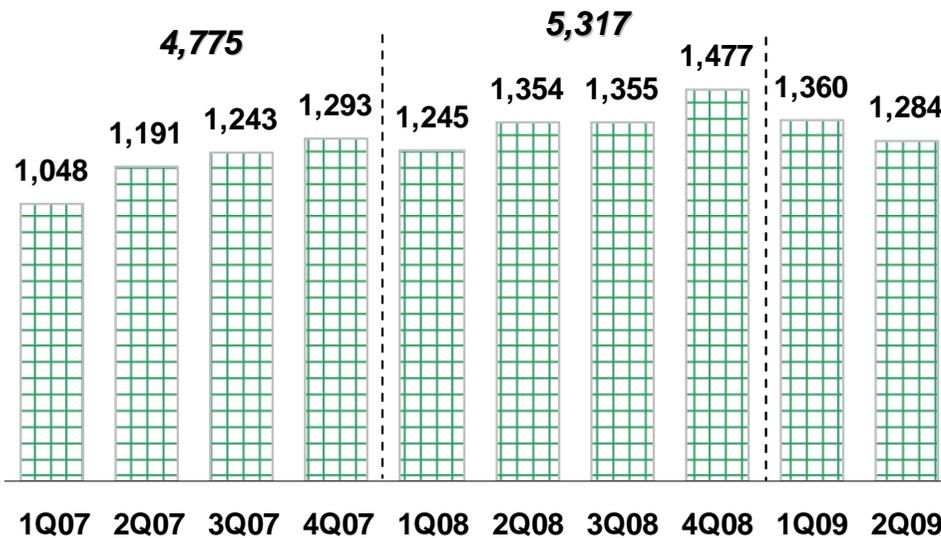
単位:百万円



Adjusted EBITDA (償却前営業利益)



減価償却

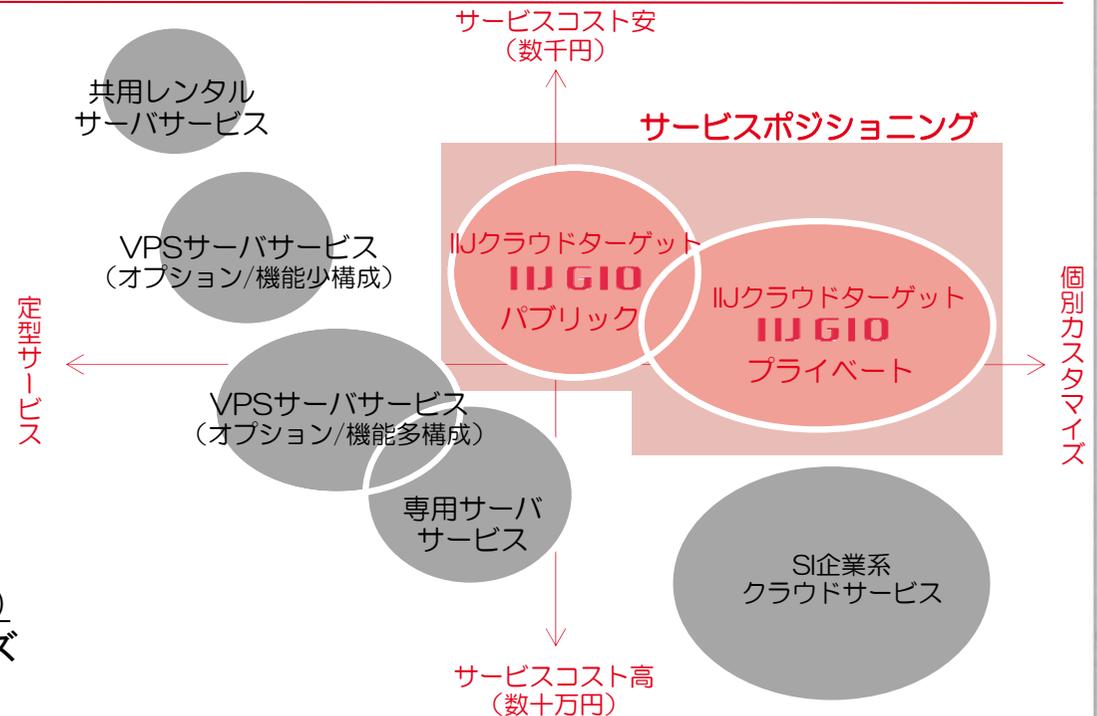


## II-15. トピックス

### ◆ クラウドコンピューティングサービス

#### 「IIJ GIO」提供開始を発表

- IIJの大容量バックボーンネットワークに直結したデータセンターにクラウドコンピューティング基盤を構築。費用対効果の高いサービスを実現。大規模ネットワーク設備を長年安定運用してきたノウハウ・技術を活かしサービス提供を推進。
- プライベート型クラウドサービス(11月より提供)ハードウェアからアプリケーションまで企業ニーズに合わせた組み合わせ等が可能で顧客毎のシステムを構成。
- パブリック型クラウドサービス(2010年4月より提供)パッケージ化された複数のサービスから企業ニーズに合わせて選択可能。



### ◆ 「IIJダイレクトアクセス」

#### モバイルサービス/タイプDに対応

- IIJのIPネットワークとNTTドコモの packet ネットワークをレイヤー2で相互接続。
- 企業の社内ネットワークへ閉域にてリモートアクセスする「IIJダイレクトアクセス」サービスが、「IIJモバイルサービス/タイプD」でも利用可能に(11/24より開始)。
- 専用線タイプのIP-VPN等を利用した従来の閉域型リモートアクセスサービスと比べ月額50%以上の費用削減効果を見込む。

### ◆ 「SMF(SEIL Management Framework)」米国でも特許取得



- IIJの独自技術である「SMF」をベースに開発された「SMF-LAN」において、米国でも特許取得(特許第7555007号)(2009年10月)。
- 「SMF」は企業がネットワーク接続をする際に必要となる複雑な設定や運用を自動的に行う技術で、日本では2006年3月に特許取得済(特許第3774433号)。
- 「SMF-LAN」は広域イーサネットなどの閉域ネットワーク上でも通信機器等の初期設定から監視・保守までを一元的に管理できる技術で、日本では2007年10月に特許取得済(第3996922号)。

## Ⅲ-1. ご参考：2010年3月期連結業績見通し(変更無し)

単位：百万円

	FY09(予) (09/4~10/3)	FY08実績 (08/4~09/3)	前年度比	
営業収益 (売上高)	<b>73,000</b>	<b>69,731</b>	<b>3,269</b>	<b>4.7%</b>
営業利益	<b>3,300</b>	<b>2,917</b>	<b>383</b>	<b>13.1%</b>
税引前 当期純利益	<b>2,700</b>	<b>2,034</b>	<b>666</b>	<b>32.7%</b>
当社株主に帰属 する当期純利益	<b>1,700</b>	<b>1,419</b>	<b>281</b>	<b>19.8%</b>
一株当たり当社 株主に帰属する 当期純利益	<b>8,393円</b>	<b>6,918円</b>	<b>1,475円</b>	<b>21.3%</b>
一株当たり 配当金	<b>2,000円</b> (年間)	<b>2,000円</b> (年間)	-	-

## Ⅲ-2. ご参考:グループ会社一覧

(2009年10月末現在)

	社名	出資比率	主な事業内容
連結 子会社	 (株)アイアイジェイテクノロジー	100%	システムの設計、開発、構築及び運用保守等
	 (株)アイアイジェイ フィナンシャルシステムズ		金融機関向けシステムの開発、運用保守等
	 (株)ネットケア		ネットワークシステムの運用監視、カスタマーサポート、コールセンター等
	 ネットチャート(株)		LAN関連を中心としたネットワーク構築等
	 IIJ America Inc.		米国でのインターネットバックボーン網の運用、インターネット接続サービスの提供等
	 (株)ハイホー		個人向けISP事業等
	 (株)IIJイノベーションインスティテュート		インターネット技術開発およびインキュベーション事業等
	 (株)トラストネットワークス	71.2%	ATM・ネットワークの運営等
 GDX Japan(株)	60.2%	メッセージ交換ネットワークサービスの提供等	
持分法 適用 関連会社	 インターネットマルチフィード(株)	32%	相互接続ポイントの運営、コンテンツ配信等
	 (株)インターネットレボリューション	30%	インターネットポータルサイトの運営等
	 TAIHEI COMPUTER タイヘイコンピュータ(株)	45%	ポイント管理システムの提供等

### Ⅲ-3. ご参考:2Q09 主要プレスリリース一覧

		日付	項目
FY09	2Q	7/1	IIJグループ、R&D体制を強化
		7/1	IIJ、中小企業向け新ブランド「LaIT(ライト)」を開始
		7/8	IIJ、国内初となる「Live Smooth Streaming」技術とSilverlightを利用した高画質ライブ映像を配信
		7/9	IIJ、アット東京のデータセンターでインターネット接続サービスを提供開始
		7/14	IIJ、日食中継プロジェクトに高画質の映像配信プラットフォームを提供
		8/11	平成22年3月期 第1四半期決算発表
		8/27	IIJ、IIJセキュアWebゲートウェイサービスにおいて「マルウェア防御オプション」を試験提供開始
		9/17	レスキューナウ、IIJ、日本HP、シンクライアントを軸にした新型インフルエンザ対策で協業
		9/17	旭川ケーブルテレビ、I-CMTS方式での超高速ケーブルインターネット実証実験を実施
	9/28	JPNAP東京Iサービスの新たな接続ポイントをエクイニクス東京センターに開設	
	3Q	10/1	IIJ、「IIJマネージドファイアウォールサービス」において、IPv6に対応
		10/5	IIJグループ、新しいクラウドサービス「IIJ GIO」のラインナップを発表
		10/8	IIJとサイボウズ総研がクラウド推進のアライアンスで合意
		10/13	IIJ、「IIJセキュアWebゲートウェイサービス」のコンプライアンス機能を強化
		10/26	IIJ、「IIJセキュアMXサービス」に添付ファイル暗号化機能を追加
		10/26	IIJグループ、シトリックスとクラウド分野で協業
		10/27	IIJとマイクロソフトがクラウド向けサービスの提供に向け協業
11/11		IIJ、NTTドコモとレイヤー2で接続開始	

## ※ 事業等のリスク

本資料には、1995年米国民事訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act of 1995)の「セーフハーバー」規定に定義する「将来性の見通しに関する記述(forward looking statements)」に該当する情報が記載されています。本資料の記載のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社グループまたは当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社グループまたは当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。現時点において想定しうる当社グループの主なリスク及び不確実性として、

- 1) 国内景気の低迷、経済情勢の変化等による企業のシステム投資及び支出意欲の低下、
- 2) サービスの中断等による当社グループのサービスへの信頼性の低下及び事業機会の逸失、
- 3) ネットワーク関連費用、外注費、人件費等、費用規模の想定を超える増加、
- 4) 競合他社との競争及び価格競争の進展、
- 5) 投資有価証券、営業権等ののれん資産の価値変動及び実現、
- 6) 税効果会計による法人税等調整額の規模及び実現時期の変動

等がありますが、これら及びその他のリスク及び不確実性については、当社グループまたは当社が、1934年米国証券取引法(Securities Exchange Act of 1934)に基づき米国証券取引委員会に届出し開示している英文年次報告書(Form 20-F)及びその他の書類をご参照下さい。

## ※ お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ (財務部 IR室)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング

TEL: 03-5259-6500 FAX: 03-5259-6311 URL: <http://www.ij.ad.jp/IR> E-Mail: [ir@ij.ad.jp](mailto:ir@ij.ad.jp)

